

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 173-8605
 住 所 東京都板橋区加賀二丁目11番1号
 氏 名 学校法人 帝京大学
 理事長 印
 冲永 佳史
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 帝京大学		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市高津区溝口三丁目8番3号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,684	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	管財課
		所在地	神奈川県川崎市高津区溝口三丁目8番3号
		電話番号	044-844-3333(代表)
		FAX番号	044-844-3201
		メールアドレス	

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成27年度 ~ 平成29年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

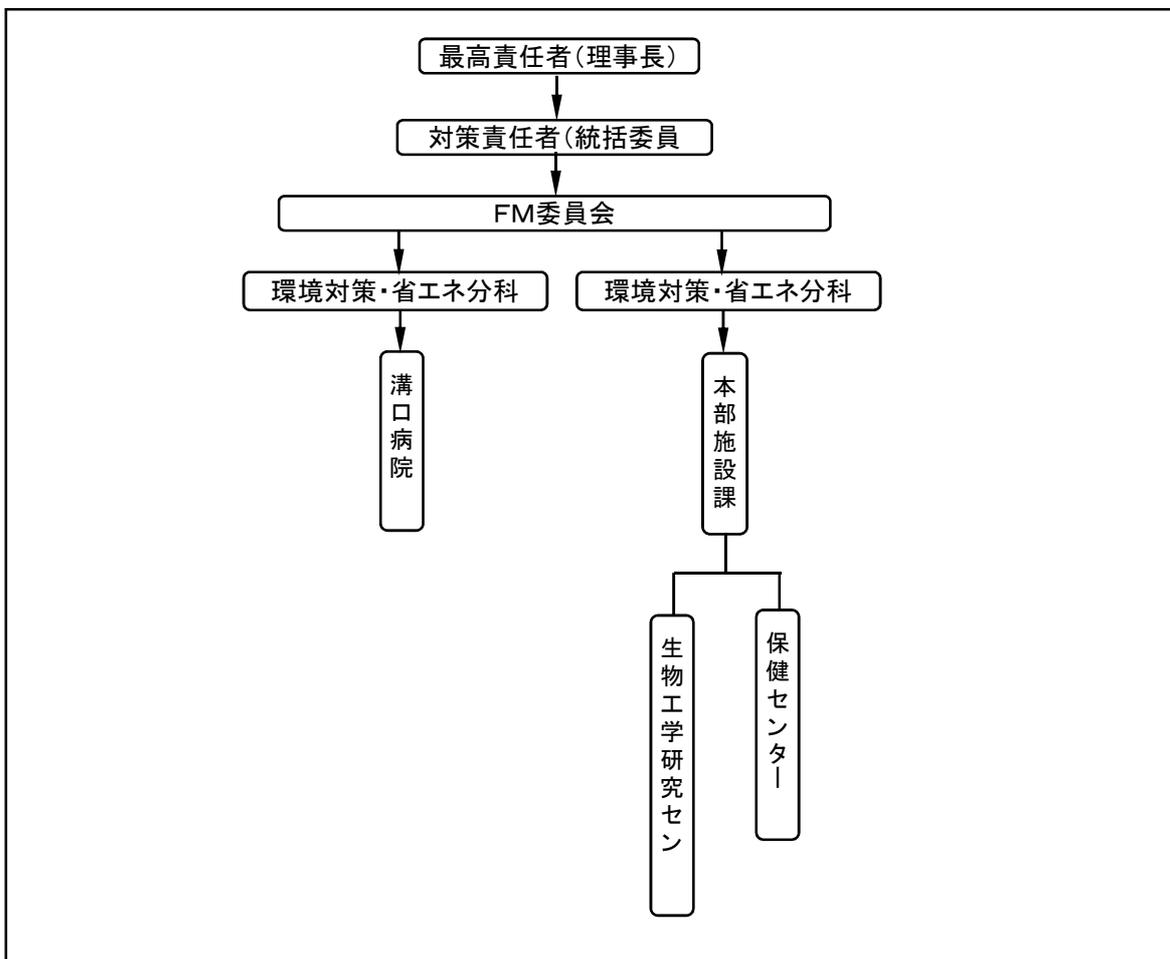
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

省エネルギー等の地球温暖化対策に積極的に取り組み、技術的かつ経済的に可能な範囲内で次に掲げる諸目標及び措置の実現に努めるものとする。

1. エネルギー消費設備等に関する事項(下記設備新設時の高効率機器導入検討)
 ①燃焼設備②熱利用設備③コージェネレーション設備④電気使用設備⑤空気調和設備⑥照明設備⑦給湯設備等

2. エネルギーの使用の合理化に関する事項
 ①電気および熱エネルギーの効率的利用のための検討(啓蒙活動を含む)②未利用及び再生可能エネルギーの活用

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成26年度	目標年度	平成29年度
基準排出量	(実) 3,423 (調) 3,404 t-CO ₂	目標排出量	(実) 3,389 t-CO ₂
削減率	(実) 1.0 %	削減量	(実) 34 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延床面積	単 位	t-CO ₂ /m ²
基準年度の値	0.08914	目標年度の値	0.08825
削減率	1.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

<p>各事業所では、日頃より省エネ・省CO₂の推進活動を積極的に実施している。溝口病院では新病院棟を建設中であり、実際のエネルギー使用量は病棟を稼働させまいと分からないなど不透明な部分があるが、導入設備にはトップランナーの製品を選定している（照明は積極定期にLEDを採用）ため、高い省エネ効果が期待されている。一方、病床数は変わらないが延床面積が増えること、窓を開けられないため機械換気に頼らざるを得ないことなど、エネルギー使用量の増加要因も抱えている。</p> <p>以上を勘案し、第1計画期間での目標削減率を1%とした。</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・定例の FM 委員会を得て設置するとともに、責任者の明確化、マニュアル類の整備を図る。 ○主要設備等の保安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る ○空気調和の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・医療に直接かかわらない管理部門等のエリアの空調温度設定の緩和を徹底する ○新設、更新等における措置 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器へ置き換えを検討する。 ・更新を実施する照明装置はHf蛍光灯、LED等の省エネ型およびセンサ等を利用した器具を採用する
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギー利用に対する指針等は現時点ではないが、今後、省エネ会議等で導入の可能性を検討する予定。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

省エネルギー設備の導入については、基準年度までにも積極的な取り組みを行っている。
 具体的には、これまで次のような取り組みを実施している。
 (平成26年度実施)
 ・電気式個別空調機器の更新(450台)
 ・冷房設定温度28℃の励行
 ・照明の間引き
 ・誘導灯のLED化
 ・クールビズ

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

○エネルギーの使用の合理化に関する法律の準拠による管理の徹底
溝口病院は省エネ法に基づく管理、報告を徹底しており、中長期計画等は本部とも連携している。

○廃棄物の分別の徹底による総量削減
発生する廃棄物は、医療廃棄物、一般廃棄物（個別分類）等に厳格に分類し、リサイクル可能なものはリサイクルし、廃棄物総量の抑制に努めている。また、廃棄物は、廃棄物による自家発電設備を有する業者と契約している。

○敷地内の植栽の管理
溝口病院は敷地内に樹木、植栽を豊かに有し、その維持管理についても徹底する。

○病院職員の公共交通機関での通勤の徹底
溝口病院は駅至近であり交通の便も優れるため、夜勤者等を除き公共交通機関での通勤を徹底する。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,423	t-CO ₂
(調)	3,404	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
帝京大学医学部附属溝口病院	川崎市高津区溝口三丁目8番3号	8311	一般病院	2,997 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	1
100k _l 未満	1

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--